

公開講演:ダンスと映像、アーカイブ「大野一雄について」を巡って

日時: 2016年11月14日(月) 10:40~12:10

会場: お茶の水女子大学 本館 306 教室 聴講無料(事前申し込み不要)

* LA 科目「舞踊における色・音・香」の履修者は、本講演に出席し、レポートを提出することにより、授業の出席として認められます。



写真:映画版「大野一雄について」 撮影:飯名尚人

講師プロフィール:

飯名尚人 IINA Naoto

(映像作家・演出家・ドラマツルク)

2003年より Dance and Media Japan を立ち上げ、メディアパフォーマンスの招聘やワークショップ開催、「国際ダンス映画祭」のプロデュースを行う。映像作家として佐藤信「リア」「スピリッツプレイ」、小池博史「風の又三郎」、川口隆夫 x ジョナサン・M・ホール「Touch of the other」などに参加。演出家として「ASYL」(寺田みさこ、西松布咏ほか出演)、「熱風」(平野正樹、笛田宇一郎ほか)など。

映画監督作品では、八戸市の廃校・合併する小学校の生徒と共に映画を作る地域映画「鳩祭」「あなたとわたし、ワルツ」「Home Song」(南郷アートプロジェクト製作)を脚本・監督した。現在、東京造形大学特任教授、座・高円寺アカデミー講師、京都精華大学非常勤講師。

舞踏家・大野一雄の舞台記録映像から踊りを完コピし再現を試みた作品 川口隆夫ソロパフォーマンス『大野一雄について』、ドラマツルク・映像・サウンドとして参加している飯名尚人さんに、本作品のコンセプトや、ドラマツルクとしての仕事、そして映像から読み取るダンス表現の可能性などを語っていただきます。本作品はこれまでにヨーロッパツアー、韓国、インドネシア、アメリカ 7 都市ツアーを行っています。

また「大野一雄ビデオアーカイブ」や、戦後日本のダンス事情を探る「洋舞インタビュー」(企画・ディレクション 溝端俊夫)などを紹介しながら、ダンスにおけるアーカイブの在り方についても話していただきます。



写真:映画版「大野一雄について」 撮影:飯名尚人

問い合わせ先: お茶の水女子大学文教育学部芸術・表現行動学科舞踊教育学コース准教授 中村美奈子
nakamura.minako@ocha.ac.jp